

2020年3月期 第2四半期決算説明資料



ICDAホールディングス

International Conglomerate of Distribution for Automobile

2019年12月5日

(東証二部・名証二部 3184)




2020年3月期 第2四半期決算概要




2020年3月期 第2四半期決算概要

- 国産新車販売台数

 **2,799台** (前年同期比 17.1%増)

- 輸入車販売台数





 **323台** (前年同期比 5.2%増)

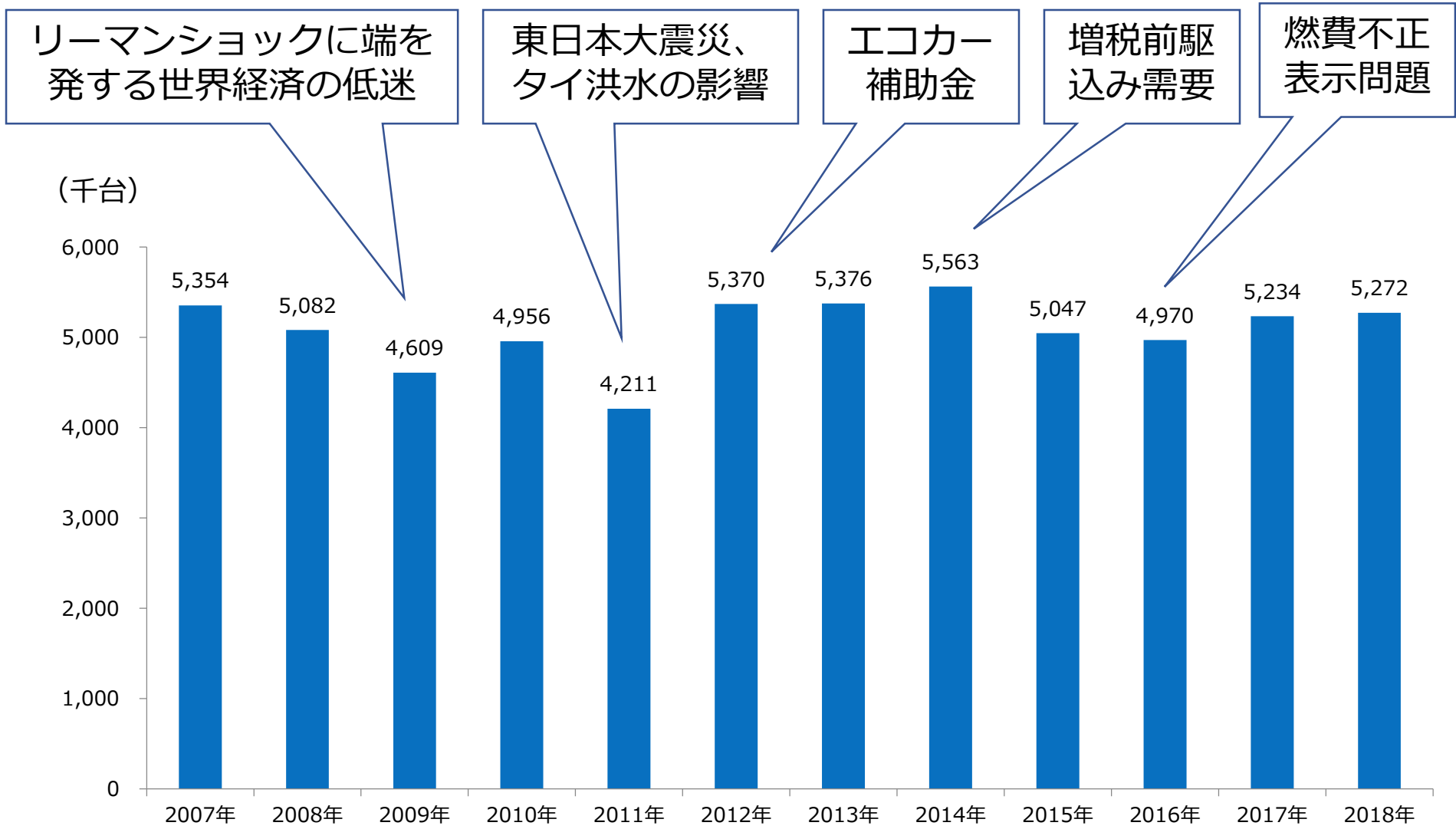
- 国産新車・・・増税前納車、N-B O X好調、N-WGNの出荷停止

- 輸入車・・・一部車種の出荷遅れが解消

- 中古車販売・・・グループ間連携強化、在庫の早期入替、物流システム等の見直し

グループ販売台数の推移 (単位：台)

	2019年3月期			2020年3月期				2020年3月期計画	
	上期	下期	累計	上期	下期	累計	前年同期比	累計	前年同期比
国産新車	2,391	2,805	5,196	2,799	—	2,799	 17.1%増	5,000	 3.8%減
輸入車	307	313	620	323	—	323	 5.2%増	600	 3.6%減
中古車	4,981	5,394	10,375	5,217	—	5,217	 4.7%増	10,000	 3.6%減



出所：（社）日本自動車販売協会連合会HP統計資料より当社作成

長期的な営業環境

- 自動車の保有台数のゆるやかな微減傾向
- 自動車の長期保有化
- モビリティの変化をもたらす要因
(先進安全装備・次世代エコカー・自動運転車・カーシェアリング・コネクティッドカー)

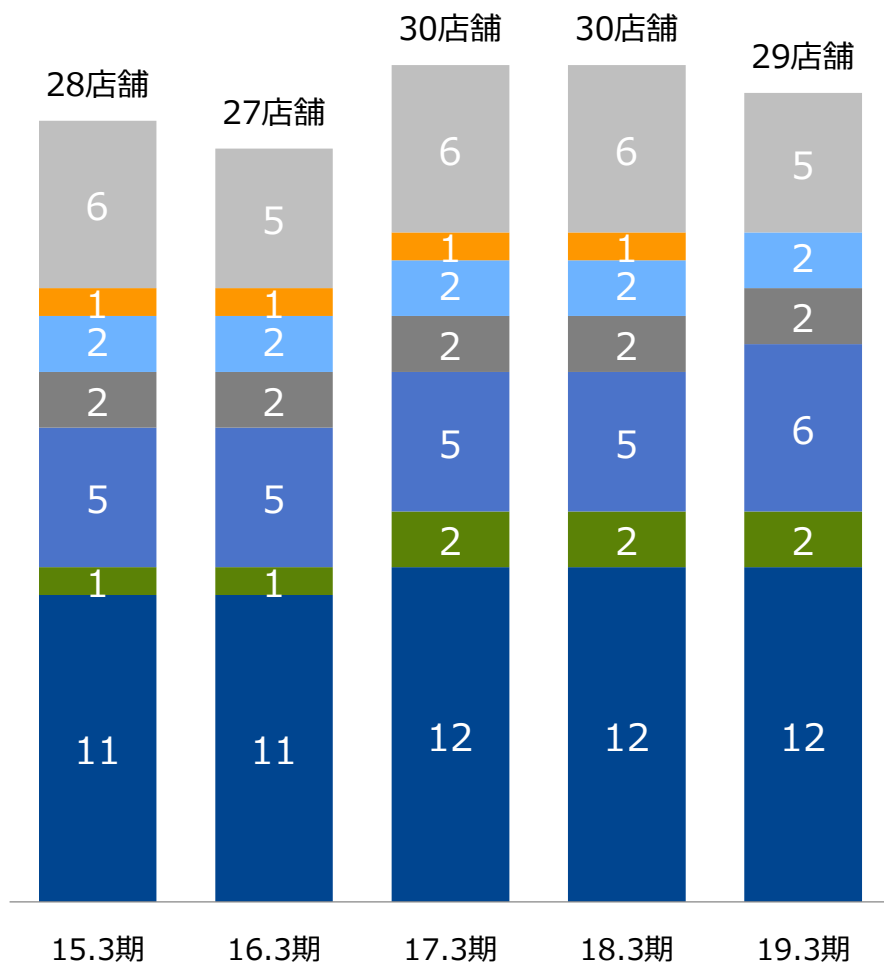
国内販売台数（新車・中古車・輸入車）の推移

- EV、ハイブリッドなどの低燃費車や安全システム搭載車等が堅調

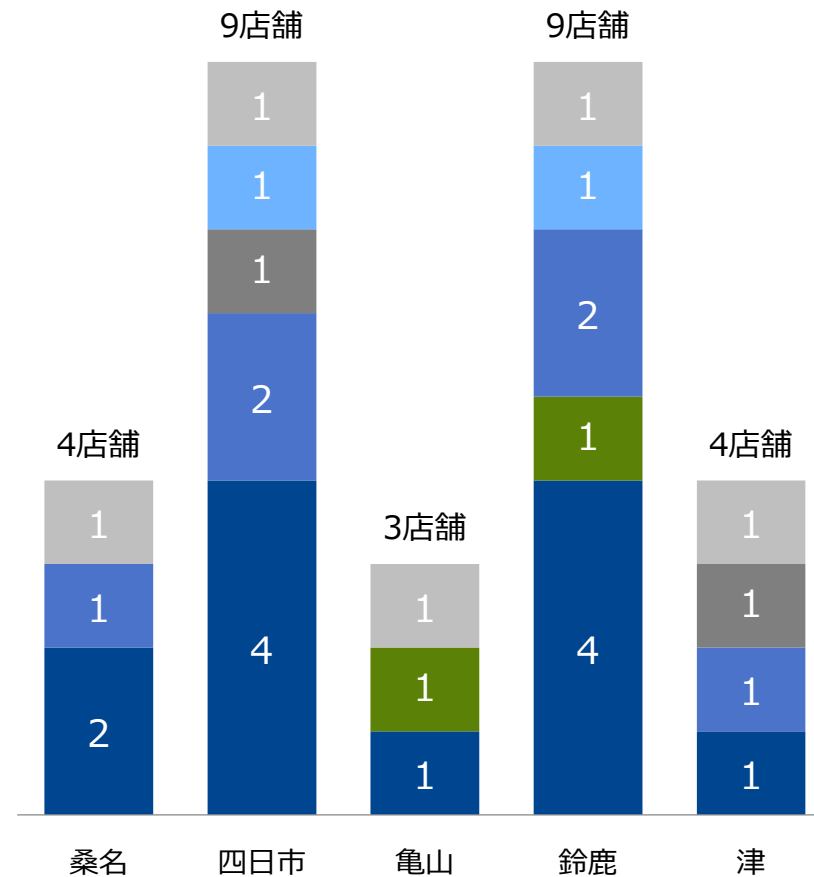
(単位：千台)

	2019年3月期			2020年3月期			
	上期	下期	累計	上期	下期	累計	前年同期比
国内新車販売台数	2,482	2,776	5,259	2,621	—	2,621	 5.6%増
国内中古車登録車台数	1,836	2,006	3,842	1,891	—	1,891	 3.0%増
輸入車新規登録台数	177	185	363	176	—	176	 0.5%減

出店状況の推移 (5年間)



地域別出店状況



■ ホンダカーズ ■ U-Select ■ ヴァーサス ■ Audi ■ VW ■ ポルシェ ■ POINT⑤

(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)
売上高	13,308	14,453	1,145	+8.6
営業利益	594	703	109	+18.5
経常利益	597	711	114	+19.1
親会社株式に 帰属する当期純利益	391	519	128	+32.6

ICDAホールディングス

(株) ホンダ四輪販売 三重北

- 新車販売
(ホンダ正規ディーラー)
- 中古車販売・買取
(全メーカー)
- サービス

(株) オートモール

- 新車販売
(アウディ・VW正規ディーラー)
- 中古車販売・買取
(全メーカー)
- サービス

(株) マーク・ コーポレーション

- 鈴鹿オートリサイクルセンター

自動車販売事業

自動車リサイクル事業

(単位：百万円)

		2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減率(%)	構成比
自動車販売 関連事業	新車部門 (国産車)	5,224	6,034	+15.5	41.7
	新車部門 (輸入車)	1,471	1,417	-3.6	9.8
	中古車部門	4,662	4,958	+6.3	34.3
	サービス部門	1,559	1,622	+4.0	11.2
	合 計	12,926	14,042	+8.6	97.2
自動車リサイクル事業		381	411	+7.8	2.8
合 計		13,308	14,453	+8.6	100.0

(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期 第2四半期	増減率(%)
流動資産	3,945	4,140	+4.9
固定資産	11,044	10,717	-3.0
資産の部	14,989	14,857	-0.9
流動負債	7,404	7,043	-4.9
固定負債	2,146	1,957	-8.8
負債の部	9,551	9,001	-5.8
資本金	1,161	1,161	-
資本剰余金	1,148	1,148	-
利益剰余金	2,975	3,389	+13.9
純資産合計	5,437	5,855	+7.7

2020年3月期計画



自動車販売関連事業

新車部門（国産車）

- N-WGN、FITがフルモデルチェンジへ

新車部門（輸入車）

- 市場動向は前年横ばいをベースとして予測しつつ、上期には消費税増税前の駆込み需要を期待

中古車部門

- 中古車市況は持ち直しつつあるが、一部メーカーの不正問題による影響が継続

サービス部門

- 車検到来数は
 - 上期:前年上回り
 - 下期:前年下回りとなるが、年間通じては過去最大並みの件数を想定

自動車リサイクル事業

- 鉄・アルミ等の資源価格相場は下落基調
- 軽・小型車の在庫が増加する傾向

(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	増減額	増減率(%)
売上高	28,181	28,000	-181	-0.6
営業利益	1,147	1,130	-17	-1.5
経常利益	1,146	1,120	-26	-2.3
親会社株式に帰属 する当期純利益	737	791	54	+7.2

(単位：台)

販売台数	2019年3月期	2020年3月期	増減額	増減率(%)
新車 (国産車)	5,196	5,000	-196	-3.8
新車 (輸入車)	620	600	-20	-3.6
中古車	10,375	10,000	-375	-3.6

(単位：百万円)

		2019年3月期 実績	2020年3月期 計画	増減率 (%)	構成比 (%)
自動車販売 関連事業	新車部門 (国産車)	11,324	11,378	+0.5	40.6
	新車部門 (輸入車)	2,950	2,440	-17.3	8.7
	中古車部門	9,778	10,170	+4.0	36.3
	サービス部門	3,342	3,201	-4.2	11.4
	合 計	27,413	27,210	-0.7	97.2
自動車リサイクル事業		768	789	+2.7	2.8
合 計		28,181	28,000	-0.6	100.0

自動車販売関連事業

新車部門（国産車）

- 過去に並ぶ車検到来に対する代替提案
- オールラインナップ（軽・スモール・ミニバン・ハイブリッド・セダン）に合わせた販売の強化
- 用品拡販を強化し、1台当たりの収益を改善

新車部門（輸入車）

- 販売計画必達のため、顧客源泉と車種により細分化し、不振分野に適宜リソースを集中
- 消費税増税のリセッションに備えて、残価設定型ローン推進により代替需要の基盤を構築
- 付属品販売をKPIとして管理し、粗利単価を向上

中古車部門

- チラシ・ネットによる新規来店誘引と既存ユーザーに対する代替提案強化
- 残価設定クレジット提案開始
- 業販サイト（ASNET）を活用し在庫回転率の強化

サービス部門

- 顧客の拡大と取込み
- メンテナンスパックの継続加入を促進、総加入率を底上げし、点検・車検実施率を上げる
- リコール対象車の回収促進

自動車リサイクル事業

- 使用済自動車の安定的確保
- リユースパーツ（国内外）販売の強化

今後の戦略



- ICDAグループ新車商品センター・中古車商品センター
- 自動車安全運転支援システム体験試乗コース
- 納車センター
- PBカー（自主企画カスタマイズカー）製作工場



約20,000坪の敷地面積（東京ドームの約1.4倍）

八野モータープールの活用効果

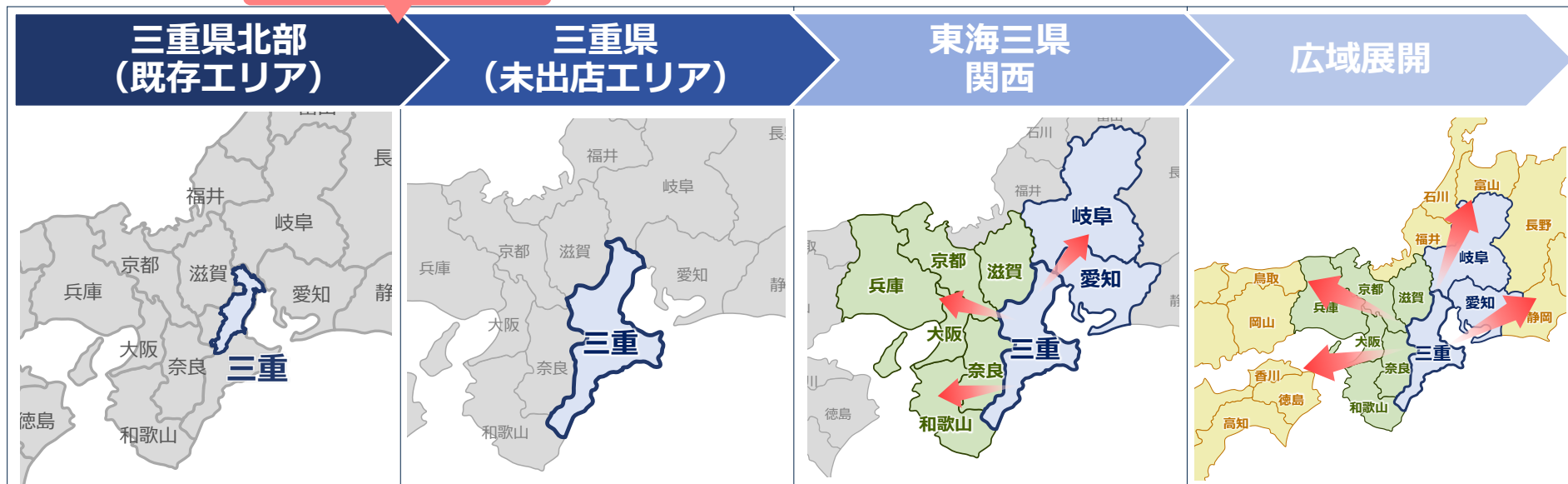
中古車付加価値の創出

営業効率・収益率の向上

中古車店販売網の拡大

- 出店余地がある三重県での複合型店舗の推進
- 中期的には**M & A**を踏まえ出店エリアを東海三県・関西の近隣地区へ拡大
- 中古車販売・買取を行う独自ブランドP O I N T ⑤を**積極展開**

現在のステージ



出店エリア選定基準

人口3万人以上の都市

交通インフラが未整備な地域

1世帯あたり自動車所有台数
1.0台以上

- 新ブランド「VERSUS PLUS」
- 正規ディーラーと同等のクオリティを提供
- 高級・高品質ラインへの品揃え
- ネットでの情報発信と先進のネット販売システム構築へ



- 平成29年1月亀山ライフ・ミックス・オートモール（新車・中古車の複合商業施設）オープン
- 大型車検センターによる、高効率化の取り組みをグループ全店へ波及
- 今後、自動車販売だけでなく、スーパー等のテナントを誘致する複合施設へ**

ホンダカーズ三重北亀山長明寺店
ホンダオートテラス亀山長明寺
POINT⑤亀山店
リサイクルパーツショップ
大型車検センター



基本方針

**将来の事業展開と経営体質の強化をしつつ、
1株当たり年間配当50円以上を基本に安定配当を継続**

配当の状況

	1株当たり年間配当金	配当性向（連結）
2018年3月期	50円	26.2%
2019年3月期	50円	14.2%
2020年3月期（予想）	50円	13.3%

※ 業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、期末配当金額を変更することがあります。

參考資料



社名	ICDAホールディングス株式会社
設立	2009年10月1日
本社	三重県鈴鹿市飯野寺家町234番地の1
代表者	代表取締役社長 向井弘光
資本金	1,161百万円
発行済 株式総数	2,099,936株（自己株式64株を除く）
事業内容	自動車販売関連事業 自動車リサイクル事業
売上高	28,181百万円（連結）（2019年3月期）
経常利益	1,146百万円（連結）（2019年3月期）
従業員数	518名（連結）（2019年3月期）※パート契約社員157名含む

ICDAホールディングス

International Conglomerate of Distribution for Automobile

- I**nternational 国際的
- C**onglomerate 複合事業体
- D**istribution 流通
- A**utomobile 自動車

新車から中古車・リサイクルまで幅広く取り扱い、
自動車流通にイノベーションを起こすことを
目指す企業グループ

ICDAホールディングス

(株) ホンダ四輪販売 三重北

- 新車販売
(ホンダ正規ディーラー)
- 中古車販売・買取
(全メーカー)
- サービス

自動車販売事業

(株) オートモール

- 新車販売
(アウディ・VW正規ディーラー)
- 中古車販売・買取
(全メーカー)
- サービス

(株) マーク・ コーポレーション

- 鈴鹿オートリサイクルセンター

自動車リサイクル事業

我々は、すべての商品に愛情と情熱を持ち、
つねに初心を忘れず、真心をもってお客様に接し
ご満足していただくことを誇りとする。

各種提案



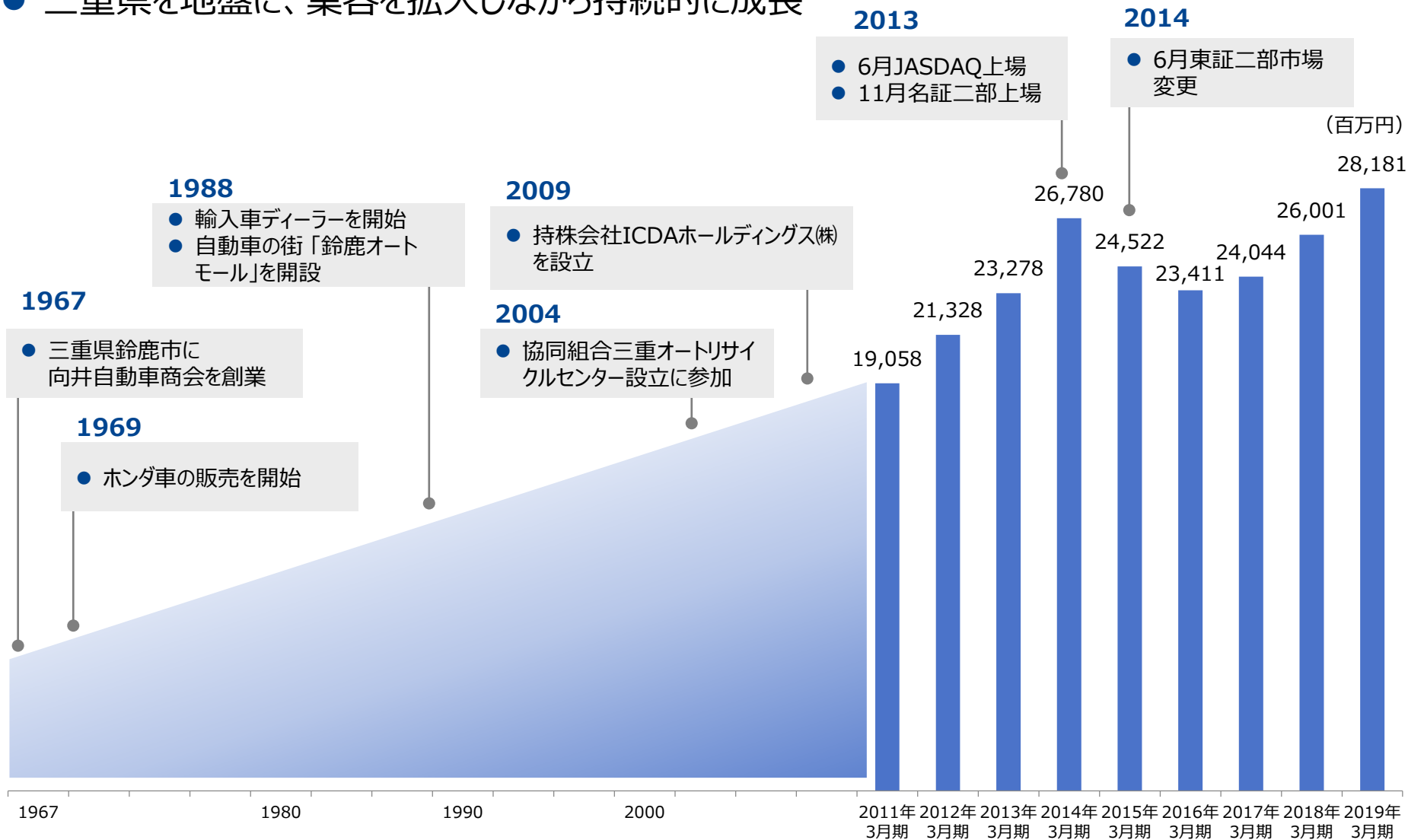
販売



カーライフ
サポート



● 三重県を地盤に、業容を拡大しながら持続的に成長

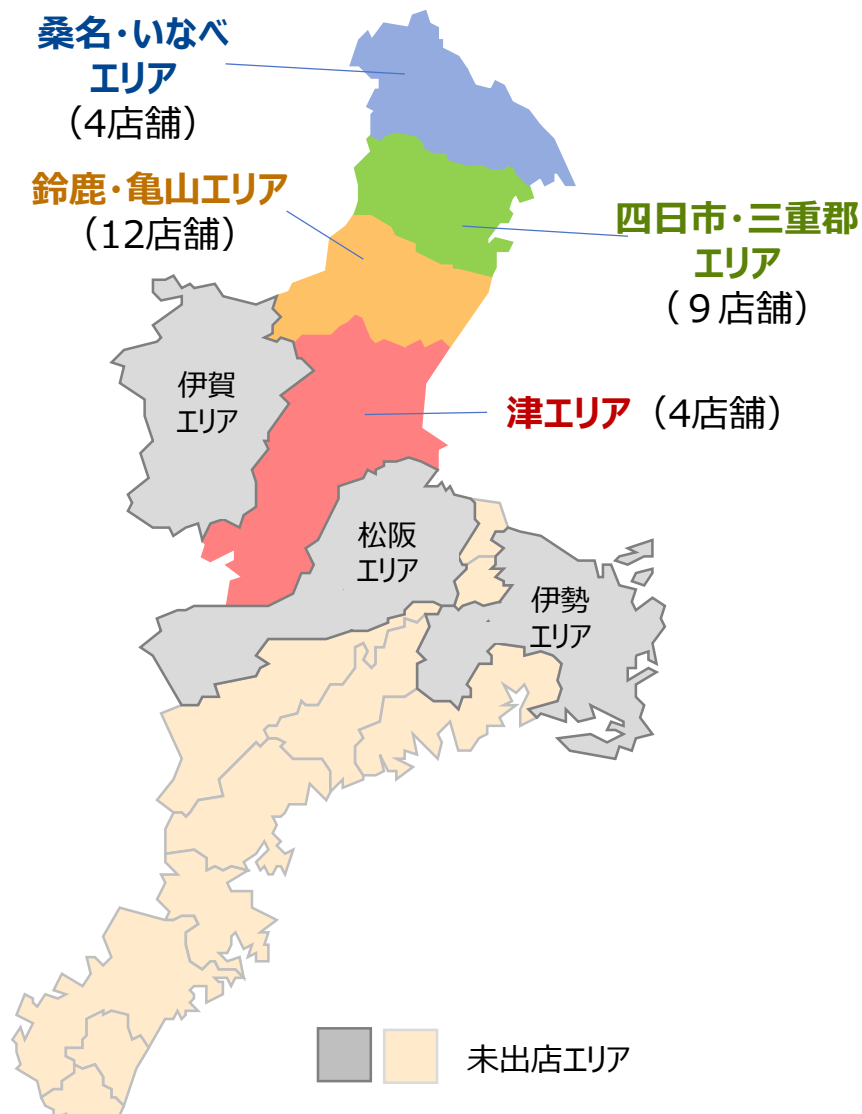


- 様々な価格帯の自動車を取り扱うことで、**幅広い顧客層**にお車を提供することが可能

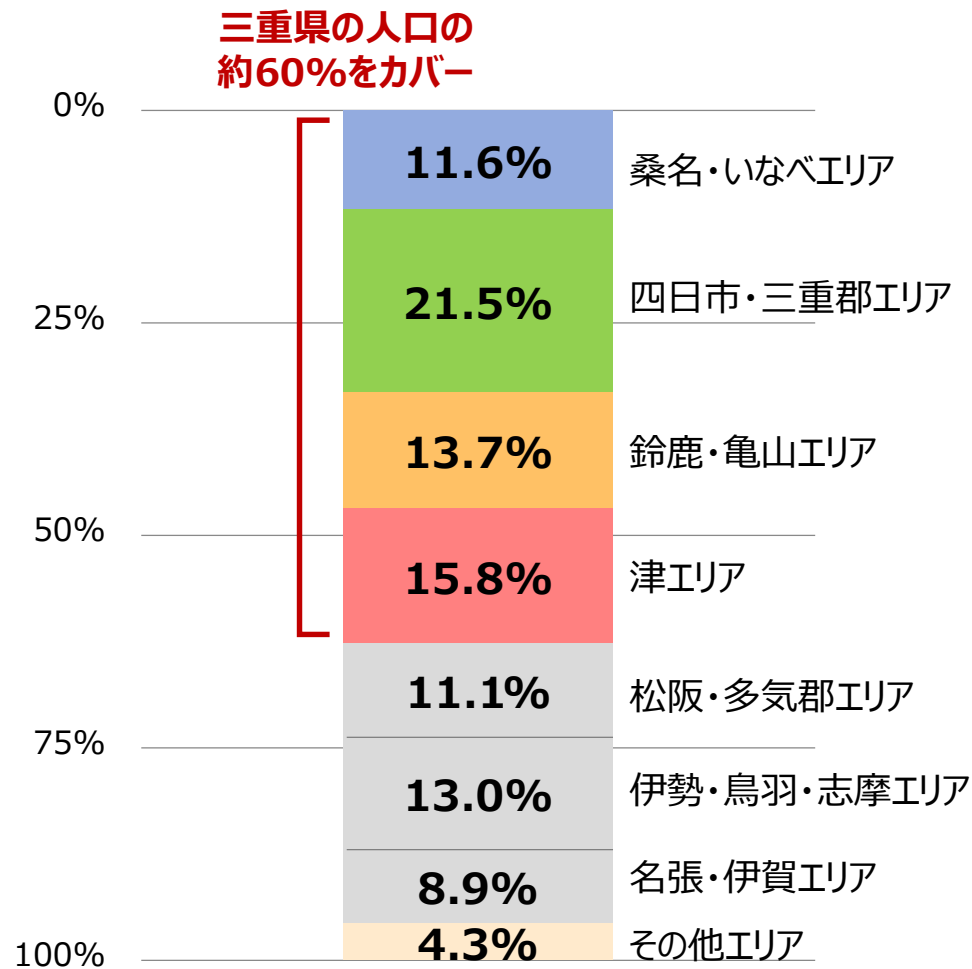
★はオリジナルブランド

業態名	事業内容	取扱車種例
アウディ三重	アウディの正規ディーラー	A3、A4、Q3、Q5、R8
フォルクスワーゲン	フォルクスワーゲンの正規ディーラー	Polo、Golf、Tiguan、Pasaat、Arteon
★ ヴァーサスプラス	高級・高品質中古車業態	全メーカー中古車
ホンダカーズ三重北	ホンダの正規ディーラー	N-BOX、フィット、ヴェゼル、フリード
★ ヴァーサス	全メーカーを扱う中古車業態	全メーカー中古車
U-Select	ホンダ車専門の中古車業態	ホンダ車中古車
★ POINT ^⑤	低年式・多走行の中古車販売と買取強化店舗	全メーカー中古車

● 人口の多い北部エリアを中心に店舗を展開



三重県の地域別推計人口



出所：三重県公式HP 2019年4月1日現在、「三重県地域別推計人口調査結果」より当社作成

- 三重県においては、自動車保有台数の増加が続く

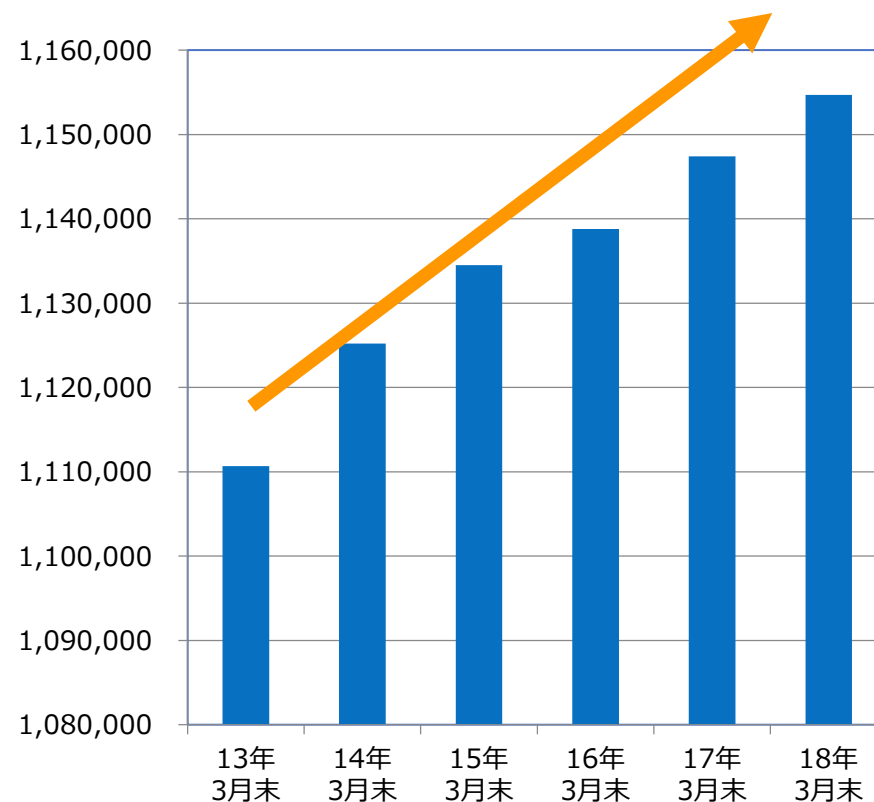
東海三県の自家用乗用車※の普及台数及び保有台数 (2019年3月末)

県名	普及台数/ 世帯 (台)	全国順位	保有台数 (千台)	全国順位
愛知	1.278	29位	4,164	1位
岐阜	1.588	7位	1,295	16位
三重	1.462	14位	1,154	20位

出所：一般財団法人 自動車検査登録情報協会「自家用自動車の世帯当たり普及台数」より当社作成

※ 自家用乗用車・登録車と軽自動車の合計

三重県の自家用乗用車保有台数推移



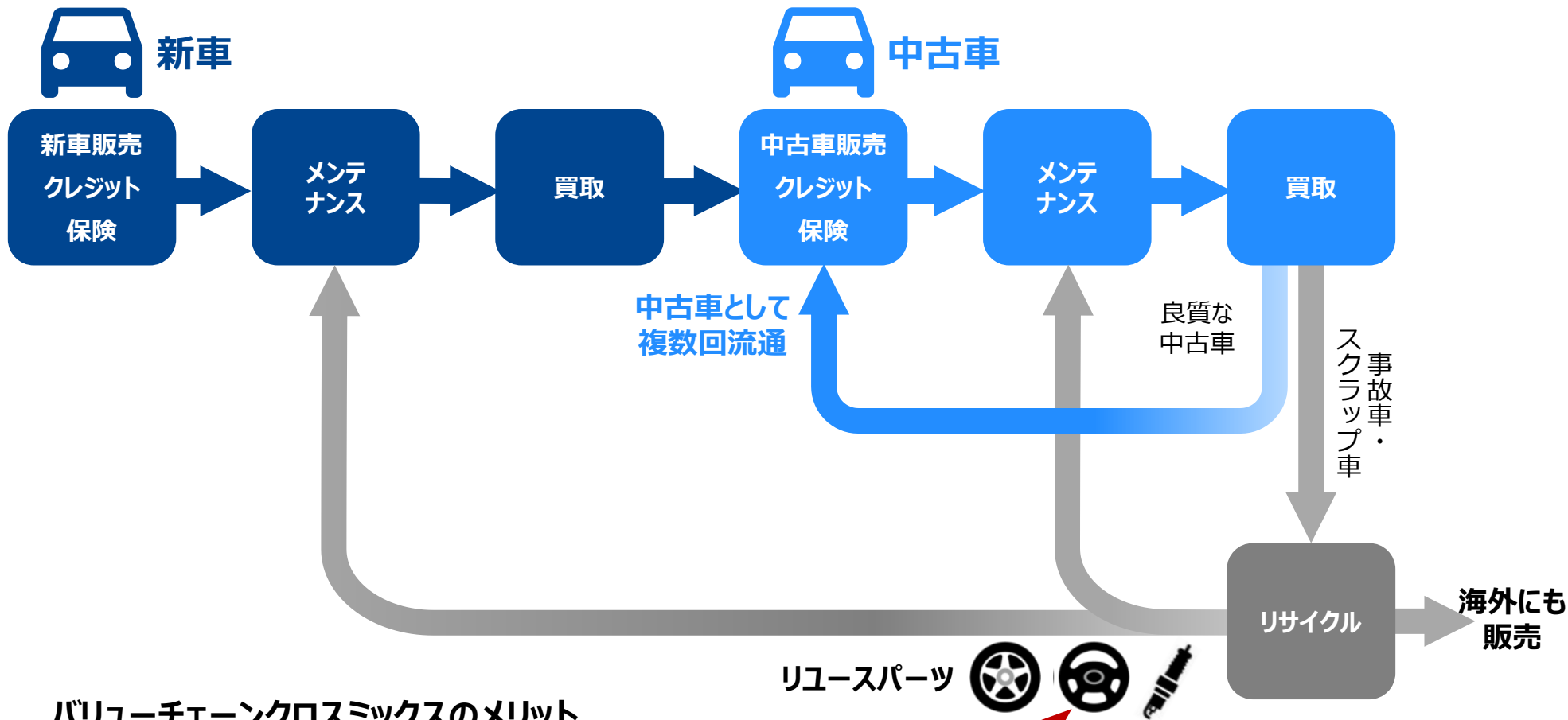
出所：(社)日本自動車販売協会連合会三重県支部「三重県自動車数要覧」より当社作成

- 自社グループにおいて、一連の業務を行うことでお客様への提案内容が拡大



バリューチェーンクロス・ミックスとは？

- グループ間で、新車販売・中古車販売・中古車買取・アフターサービス・リサイクルの流通経路を網羅することで、お客様に向けて商品やサービスの付加価値を最大化



バリューチェーンクロスミックスのメリット

- ✓ **中古車として何回も流通**させることが利益を獲得
- ✓ 通常では廃棄される事故車・スクラップ車を解体して**低コストのリユースパーツ**として活用

お客様のニーズに応じて
新品部品と中古部品の
選択が可能

- バリューチェーンを自社グループで構成することによる効果

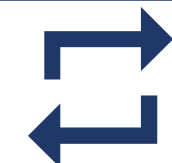
① 収益機会の増加



② 独自の中古車流通



③ リユースパーツの活用

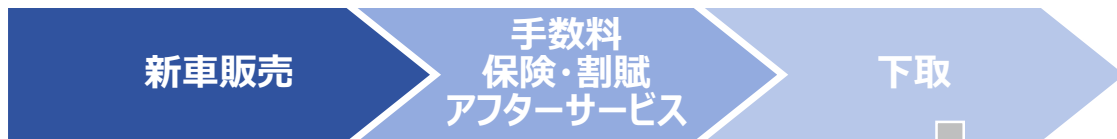


④ 店舗開発ノウハウ



① 収益機会の増加

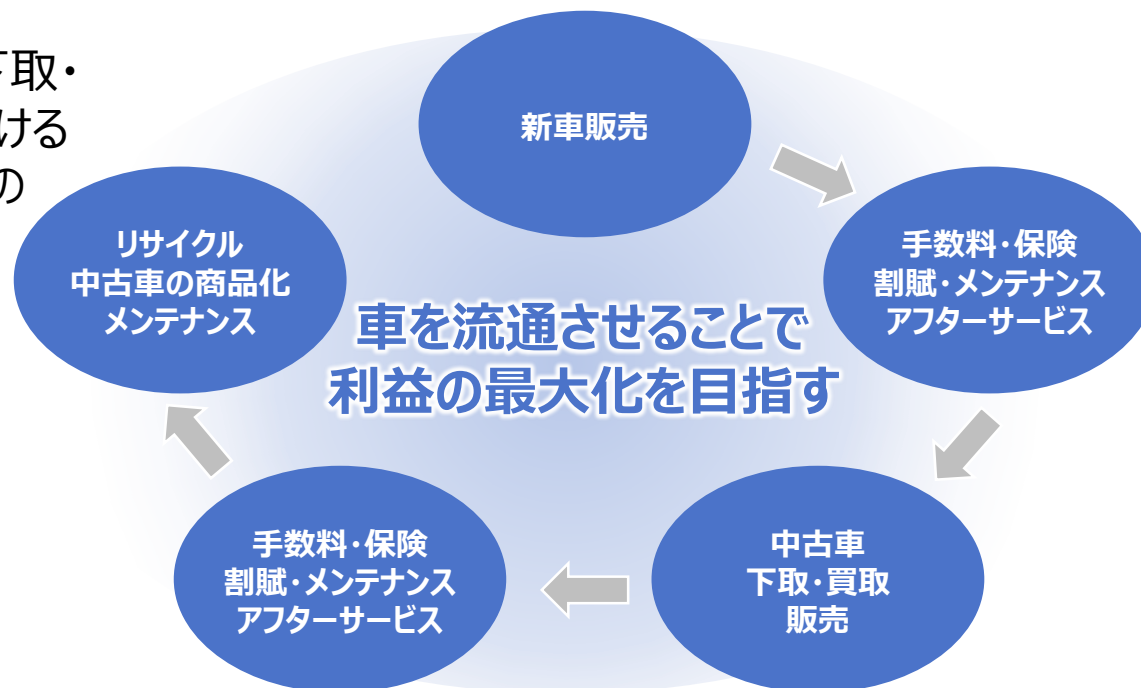
- 一般的な新車ディーラーにおけるバリューチェーンビジネス



- ICDAのバリューチェーンクロス・ミックスビジネス



- 自社グループにて新車販売・中古車下取・買取・販売、リサイクルを一貫して手がけることにより1台の自動車流通する際の**収益機会が増加**



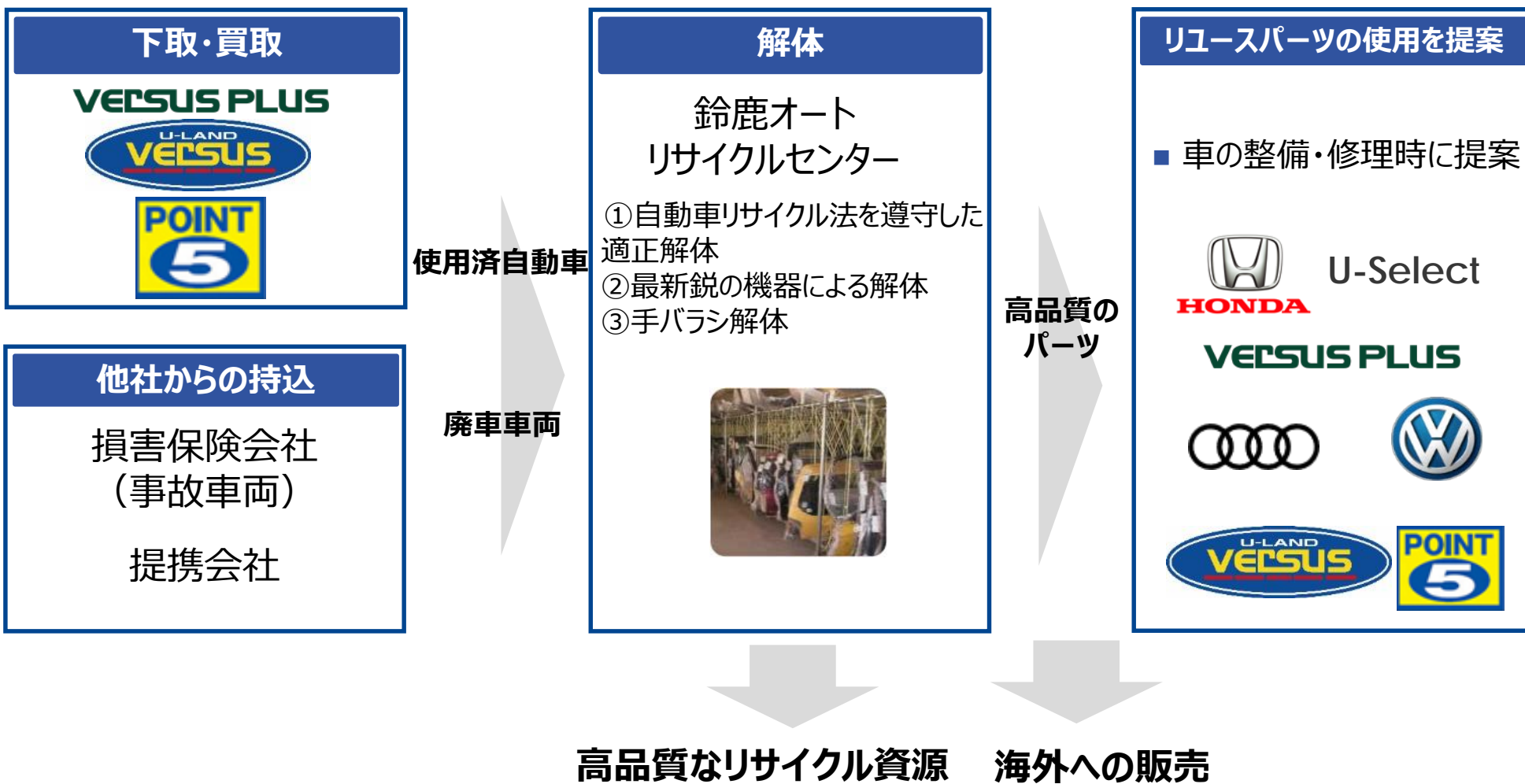
②独自の中古車流通（グループ内流通でバリューを追求）

- 車の種類・状態等に合わせ、**グループ内で効率よく流通**



③リユースパーツの活用（顧客満足度の向上）

- 品質の高いリユースパーツを提案
- **低コストでの修理が可能**となり顧客満足度が向上



- 複数のブランドを組み合わせることで**マーケットに合わせた店舗展開**が可能
- 選択肢が多い店舗を実現することで**ターゲット層が拡大し、集客力が向上**

(1) 複合型店舗

新車ディーラーを核とした複合型



- ✓ 幅広いターゲットに対応

(2) 小規模併設店舗

POINT⑤と組合せた出店



- ✓ 低コストのオペレーション

(3) 隣接型店舗

他社商業施設内での展開



- ✓ ファミリー層に対応

(4) ライフ・ミックス・オートモール

当社敷地に他社テナントを誘致した複合施設



- ✓ 幅広いターゲットに対応

- 新車・中古車の異なる業態を組み合わせる複合商業施設（オートモール）を6箇所で開催中
- 地域にあった最適な業態の店舗を組み合わせることで、集客力の向上、新規出店費用の抑制へ

単独出店の場合

顧客を取り逃がす可能性が高い

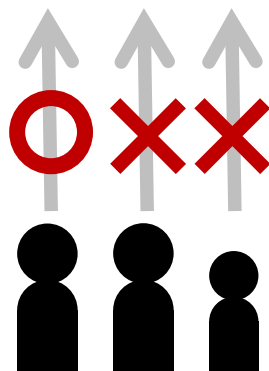
ICDA

複合商業施設（オートモール）の場合

幅広い顧客の取り込みが可能

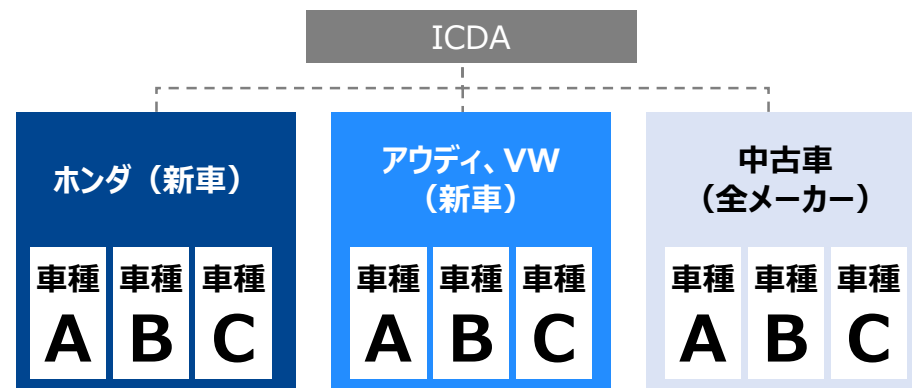


このメーカーで
買いたい！



消費者（家族）

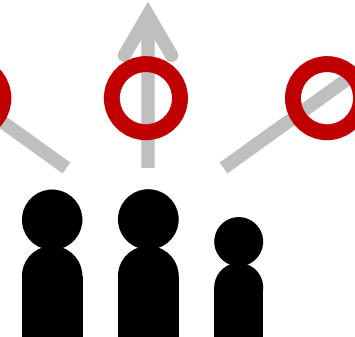
選択肢が少ない



ホンダ車

輸入車

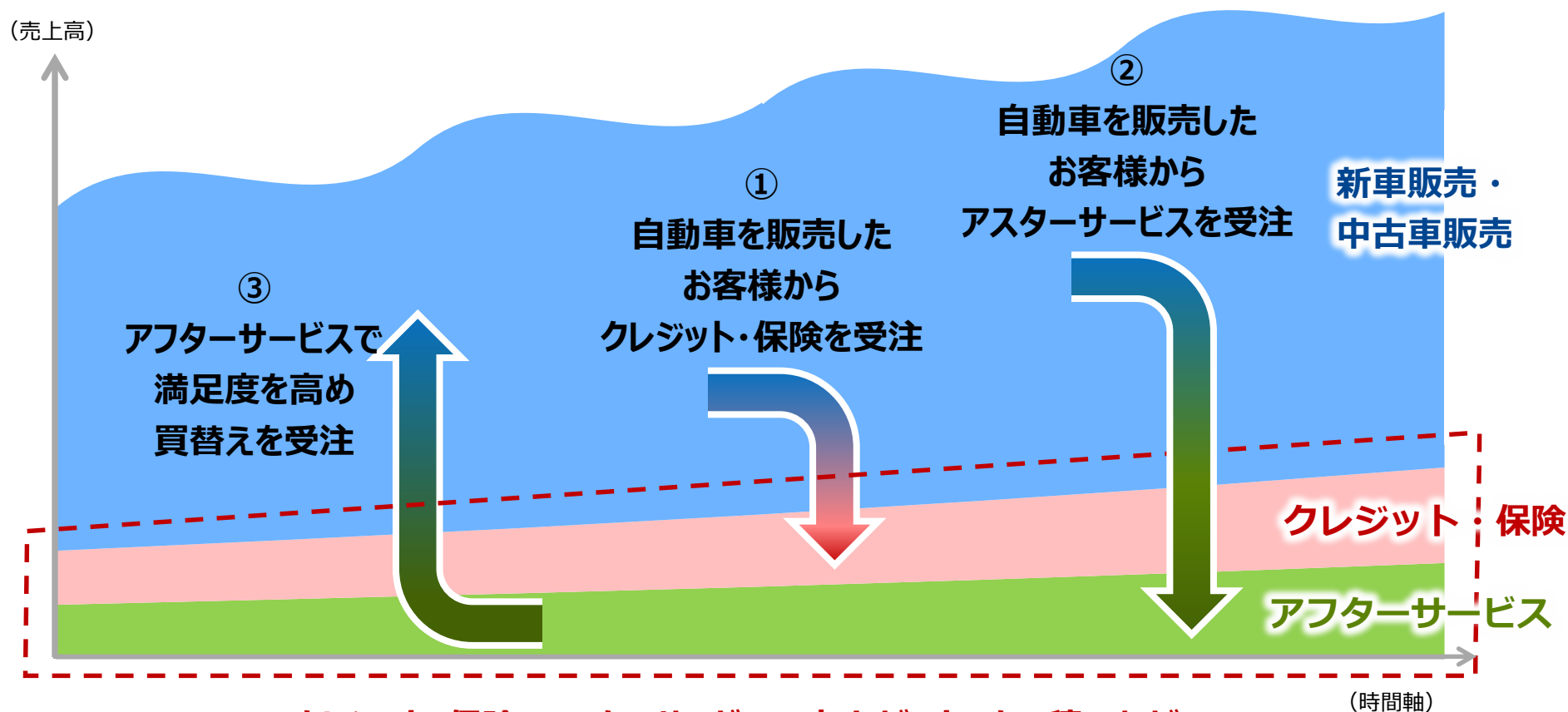
2台目需要、
価格重視 など



消費者（家族）

- 販売、クレジット・保険、アフターサービスの**相乗効果**で安定的な収益を確保

自動車販売事業売上高推移のイメージ



クレジット・保険、アフターサービスの売上がストックで積みあがる

■ アフターサービス ■ クレジット・保険 ■ 新車・中古車販売

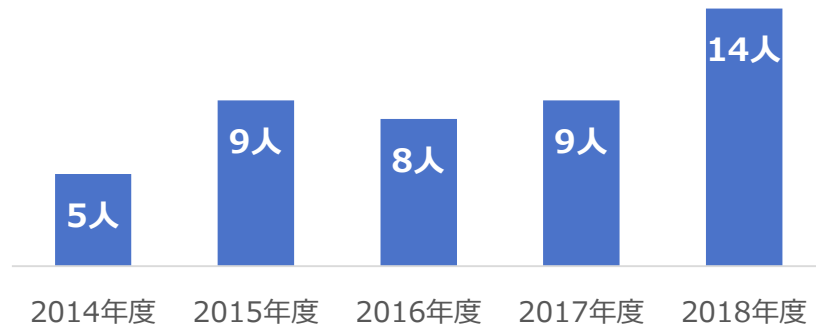
ESGの取り組み



- 全国的に珍しい、自動車営業・自動車整備士・サービスフロントに**女子力を活用**
- 女性目線**を活かした商談・接客、自動車整備の効率化



今期、女子サービスフロント登用拠点は11店舗を予定



女子サービスフロント数の推移



掲載日 中日新聞朝刊（2014年7月2日）11ページ
中日新聞社より使用の許諾を得ています。無断複製・転載を禁じます。

- 当社グループの **(株) マーク・コーポレーション** の次世代事業が、一般社団法人産業環境管理協会主催の「環境循環技術システム表彰」にて「レアメタルリサイクル賞」を受賞
- 三菱マテリアル(株)様と(株)ホンダトレーディング様と (株)マーク・コーポレーションの3社で共同で実施したNEDO事業「**使用済み自動車からのネオジム磁石および非鉄金属回収技術開発**」が評価されました。
- この希少金属回収事業は、レアアース及びレアメタルに係わる技術開発やデータ収集といった事業化を順調に進めており、自社生産品だけでなく他社からの素材を回収し、徐々に成果が出ております。

実施体制



出所：一般社団法人産業環境管理協会 3R先進事例発表会 資料 (2015.10.16)

鈴鹿で株主をおもてなし

ICDAホールディングスが優待企画



グループで扱う車両計21台を用意した

この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な四輪車でサーキットコースを走行する。この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な四輪車でサーキットコースを走行する。この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な四輪車でサーキットコースを走行する。

この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な四輪車でサーキットコースを走行する。この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な四輪車でサーキットコースを走行する。この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な四輪車でサーキットコースを走行する。

この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な四輪車でサーキットコースを走行する。この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な四輪車でサーキットコースを走行する。この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な四輪車でサーキットコースを走行する。

【津】ホンダ四輪販売三重北を核とするICDAホールディングスが25日、株主対象とした「マイカーラン」を鈴鹿市の鈴鹿サーキットで開催した。同日にサーキット内施設で開催した株主総会後の株主に対する優待企画として実施しているもので、今回は前回の40人を上回る46人が参加した。株主のマイカーによる走行のほか、同社グループで取り扱うホンダ車や輸入車なども用意し、株主は自らハンドルを握り国際的なコースでの走行を楽しんだ。

この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な四輪車でサーキットコースを走行する。この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な四輪車でサーキットコースを走行する。この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な四輪車でサーキットコースを走行する。

この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な四輪車でサーキットコースを走行する。この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な四輪車でサーキットコースを走行する。この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な四輪車でサーキットコースを走行する。

この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な四輪車でサーキットコースを走行する。この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な四輪車でサーキットコースを走行する。この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な四輪車でサーキットコースを走行する。

サーキット走行を楽しむ



当社の株主を対象に、鈴鹿サーキット国際レーシングコース（5.8Km）を使用いたしまして、先導車同付きマイカーランを実施させていただきます。当社グループ取扱車種（※1）もご用意しておりますので、ご試乗頂くことも可能となっております。数々の名勝負の舞台となった鈴鹿サーキット国際レーシングコースを自らのドライビングでアタックしてみませんか。是非、この機会に、ふるってご参加ください。

（※1）当社グループ取扱車種については、抽選となりますので、第1希望・第2希望・第3希望を申込み用紙にご記入の上、お申込み下さい。

【参加資格】 普通自動車免許をお持ちの当社株主様

【参加車種】 一般公道の走行可能な4輪車両

【日程】 2016年6月22日（水）

【スケジュール】
 受付時間 13:30 チームオフィス（詳細は、株主総会終了後にご案内いたします。）
 プレブイング 14:00 プリーフィングルーム（走行に関する事前説明会）
 走行時間 15:00～16:00

【会費】 無料

【申込方法】 本用紙の裏面に記載の注意事項、管約事項をご確認頂き、必要事項をご記入の上、下記お申込先までFAXにてお申込み下さい。ご記入頂いたご連絡先電話番号に、当社よりご連絡致します。

【申込先】 ICDAホールディングス株式会社 総務課 FAX:059-384-2881

【申込期限】 2016年6月15日（水）20:00まで

【問い合わせ】 申込に関するお問い合わせ先
 ICDAホールディングス株式会社 総務課 TEL:059-381-5540

走行会に関するお問い合わせ先
 株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット 営業部営業課 担当:川畑
 TEL:059-378-1300（平日/9:00～17:00）



鈴鹿サーキットマイカーラン走行会

掲載日 日刊自動車新聞朝刊 平成27年（2015年）7月3日
 日刊自動車新聞社より使用の許諾を得ています。無断複製・転載を禁じます。

- スーパー耐久に参戦するバースレーシングプロジェクトにスポンサーを行い、社員教育の一環として、サービススタッフのレース現場の研修も行っています。
- モータースポーツの生の現場に触れ、憧れの現場を体験して大きな収穫を得ることができました。



Audi RS3 LMS

スーパー耐久とは？

全国（仙台・栃木・富士・鈴鹿・岡山・熊本）のサーキットで年間6戦行われる、日本最大の耐久レースのトップカテゴリーで富士では24時間耐久レースが開催される、アジアを代表する国内最大の耐久レースシリーズです。



2017年2018年2年連続シリーズ3位を獲得
2019年シリーズチャンピオンを獲得

- 三重バイオレットアイリスが、2017年日本リーグ参戦11年目で初のプレーオフ出場。
- 2019年も3年連続プレーオフへ。



2017年3月5日、日本リーグ最終戦でHC名古屋に勝利し、三重バイオレットアイリスは日本リーグ参戦11年目で初のプレーオフ出場。プレーオフでは惜敗したものの、(株)ホンダ四輪販売三重北の池原綾香（2017年7月にデンマーク1部リーグニューコビンへ移籍）は、レギュラーシーズンを含む各大会で大活躍しました。

21 池原 綾香 選手
（当時：ホンダ四輪販売三重北所属）

本資料には将来の見通しについての記載が含まれていますが、これらは発表時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、経済情勢や市場動向等の変化により予想と大きく異なることがあります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

今後、新しい情報が入った場合においても、当社は本資料に含まれる見通しに関する情報の修正や更新を行う義務を負うものではありません。

本資料及び当社IRに対するお問い合わせ先

ICDAホールディングス株式会社

International Conglomerate of Distribution for Automobile

管理部総務課

TEL 059-381-5540

FAX 059-384-2881

URL <http://www.icda.jp/>